

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	09	01	01	194030	火災予防充実強化事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		1,379	1,350		-29
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	1,379	1,350		-29

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	~	令和5年度
------	-------	------	-------	---	-------

部重点施策における目標

市民の安心・安全な暮らしを火災や災害から守る。

事業開始の背景・経緯

火災の多くは不注意や誤った火の取り扱いから発生しているため、正しい取り扱いや消火方法等の火災予防を指導し、市民各々の防火意識の向上を図る必要がある。

事業概要

防火対象物への査察、違反是正、防火管理指導の実施 478千円
 防火管理新規、再講習の開催、各種訓練指導
 市民を対象とした防火意識の普及啓発の推進 233千円
 火災予防運動時、火災多発期の防火意識普及啓発広報の実施
 消防フェスティバル等火災予防啓発イベントの実施 89千円
 消防演習、秋季火災予防運動時にイベントの実施
 幼年少年消防クラブ防火活動の推進 268千円
 絵画展、作品展、少年消防クラブリーダー研修会の実施
 職員の教育研修 282千円
 岩手県消防学校入校、その他の研修会受講

担当部署	31100000 消防本部 消防本部	担当課長	小原 敏裕
------	--------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

火災予防充実強化事業費 1,350千円

- 防火対象物等への査察、違反是正、防火管理指導の実施 478千円
 - 防火管理新規、再講習（会場借上料、講習会テキスト）
 - 火災調査資器材（火災調査用機材更新）
- 市民を対象とした防火意識の普及啓発の推進 233千円
 - 火災予防運動広報用資材（春・秋季火災予防運動啓発ポスター制作）
 - 火災多発期用広報資材（市民配布用広報資材）
- 消防フェスティバル等火災予防啓発イベントの実施 89千円
 - 来場記念品等（年2回開催 6月消防演習同時開催、11月秋季火災予防運動時開催）
- 幼年少年消防クラブ防火活動の推進 268千円
 - 絵画展、作品展、少年消防クラブリーダー研修会等（作品展・絵画展用消耗品、訓練資材）
- 職員の教育研修 282千円
 - 岩手県消防学校、その他研修会（旅費、図書教材費等）

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	09	01	02	194090	消防拠点施設等整備事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		250,104	124,739		-125,365
財源内訳	国費	0	25,248		25,248
	県費	0	0		0
	地方債	224,600	72,400		-152,200
	その他	855	8,100		7,245
	一般財源	24,649	18,991		-5,658

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	～	令和5年度
------	-------	------	-------	---	-------

部重点施策における目標
市民の安心、安全な暮らしを火災や災害から守る。

事業開始の背景・経緯
消防体制の基盤を強化を通じて、住民サービスの向上を図る必要があることから、消防施設等の計画的修繕を図りながら、消防車両を計画的に更新する。

事業概要
消防庁舎管理事業 42,068千円（うち繰越明許費37,173千円） 消防本部庁舎劣化診断調査業務、東和分署車庫増築工事（繰越明許費） 消防職員衛生環境確保事業 8,780千円 消防本部庁舎和式トイレ改修 消防庁舎トイレ・手洗い場改修 消防本部男子浴室改修 消防車両等管理事業 63,918千円 高規格救急自動車更新 2台（花巻中央消防署、花巻北消防署） 消防指令体制管理事業 9,973千円 各庁舎指令端末用無停電電源装置更新 指令センター情報表示盤更新

担当部署	31100000 消防本部 消防本部	担当課長	八重樫晴彦
------	--------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1
消防拠点施設等整備事業 124,739千円（R3年度 87,566千円 R2年度繰越 37,173千円） 1. 消防庁舎管理事業 42,068千円 (1) 消防本部庁舎劣化診断調査業務 4,895千円 消防本部本部庁舎が42年経過したことにより、構造・建物の仕上げ、設備について点検を実施する。 (内容) 構造の被り厚さ・中性化深さ、鉄筋腐食状況を調査 外壁塗装、内装材のアスベスト調査 設備の目視点検実施 (調査結果を用いてR6年度実施予定の中規模改修に向けて基本設計を翌年度に実施予定) (2) 東和分署車庫増築工事（令和2年度 令和3年度繰越事業） 37,173千円 【起債】 過疎対策事業債 37,100千円 2. 消防職員の衛生環境確保事業（補正予算） 8,780千円 (1) 消防本部庁舎和式トイレ改修 1,199千円 (2) 消防庁舎トイレ・手洗い場改修業務 1,705千円 (3) 消防本部男子浴室改修業務 5,876千円 【起債】 緊急防災・減災事業債 8,600千円 3. 消防車両等管理事業 63,918千円 高規格救急自動車更新 2台（花巻中央消防署、花巻北消防署） 緊急消防援助隊登録車両として整備する。 (内訳) 備品購入費 61,017千円 無線移設委託費 2,792千円 自動車重量税 66千円 リサイクル料 28千円 自賠責保険料 15千円 【国庫】 緊急援助隊設備整備費補助金 25,248千円 *補助基準額×1/2（車両 20,291×1/2 資機材 9,347×1/2） 補助基準額に満たない場合は、補助対象事業費×1/2 車両：補助対象事業費 23,308千円 補助対象外事業費 865千円 補助基準額 20,291×1/2 = 10,145千円×2台 = 20,290千円 資機材：補助対象事業費 4,959千円 補助対象外事業費 651千円 補助対象額 4,959×1/2 = 2,479千円×2台 = 4,958千円 【起債】 合併特例債 26,700千円 車両（2台）：起債対象事業費 36,488千円 対象外事業費 2,012千円 資機材（2式）：起債対象事業費 16,949千円 対象外事業費 2,251千円 起債額：（36,488+16,949-25,248）× 95% = 26,700千円 4. 消防指令体制管理事業 9,973千円 (1) 各庁舎指令端末用無停電電源装置更新 968千円 (2) 指令センター情報表示盤更新 9,005千円 吊り下げ型の液晶画面（3画面）を設置

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	09	01	03	194130	消防団員育成強化事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		6,191	7,932		1,741
財源内訳	国費	547	0		-547
	県費	0	1,576		1,576
	地方債	0	0		0
	その他	3,000	4,300		1,300
	一般財源	2,644	2,056		-588

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	～	令和5年度

部重点施策における目標

市民の安心・安全な暮らしを火災や災害から守る。

事業開始の背景・経緯

消防団員の確保が年々難しくなっていることから組織等を再編し、今後の人口減少に対応可能な体制づくりを進めながら、団員が活動しやすい環境を整えとともに現場活動において必要な資器材を整備し消防体制の充実強化を図る必要がある。

事業概要

消防団員への教育、研修 0円（新型コロナウイルス感染症への感染及び拡大防止のため派遣中止）
 ・県消防学校への入校 0円
 ・警防・機関科0名、現場指揮課程0名、初級幹部科0名、分団指揮課程0名
 ・他自治体消防団への視察研修
 消防演習の実施 0円（新型コロナウイルス感染症への感染及び拡大防止のため中止）
 活動装備品等の更新 7,928千円
 ・現場活動用資器材の更新（消防用ホース 80本・背負い式消火水のう 55基）
 ・被服等の貸与（半纏等乙種被服・編上げ靴・ヘルメット・活動服・ラッパ隊制服等）
 消防団と事業所との連携体制強化 4千円

担当部署	31100000 消防本部 消防本部	担当課長	戸来 達也
------	--------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

- 消防団員育成強化事業費 7,932千円
- 消防団員への教育、研修 0千円
 - 県消防学校への入校（合計23名） 0千円
 消防団員を消防学校に派遣し、自動車及び小型ポンプの運用技術・最新の火災防ぎょ技術・現場における指揮要領を習得させる。新型コロナウイルス感染症への感染及び拡大防止のため派遣を中止した。
 警防・機関科（警防要員・機関要員）0名（当初予定6名）
 現場指揮課程（班長以上の階級）0名（当初予定6名）
 初級幹部科（班長の階級）0名（当初予定6名）
 分団指揮課程（分団長又は副分団長の階級）0名（当初予定5名）
 - 消防団幹部視察研修 0円
 分団長以上の幹部45名が参加し、今後の消防団組織の在り方、消防団員の処遇、装備品の整備状況など他消防団の取り組みについて視察研修を行う。（1）同様派遣を中止した。
 - 消防演習の実施 0円
 日頃の訓練成果を市民に披露し、また、演習の実施により防火意識の高揚を図ることを目的として開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症への感染及び拡大防止のため中止した。
 - 会場設営業務委託等 0円
 会場設営 除草業務 煙火打上
 - 参加団体謝礼 0円
 - 訓練消耗品 0円
 - 送迎バス借上 0千円
 - 活動装備品等の更新 7,928千円
 経年劣化や現場活動による破損等により、修繕不能となった装備品の更新を行い、消防団員が活動しやすい環境を整える。
 - 現場活動用資器材の更新（消防ホース 80本、背負い式消火水のう 55基）3,920千円
 - 被服等の貸与 4,008千円
 （半纏等乙種被服・編上げ靴・ヘルメット・活動服・ラッパ隊制服等）
 - 消防団と事業所との連携体制強化 4千円
 被雇用者団員の割合が高くなっていることから、従業員に対する入団促進や勤務時間中の消防団活動への理解と協力を得るとともに、「消防団協力事業所」の加入要件を満たす事業所の掘り起こしと、募集や加入事業所に対する表彰を行う。

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	09	01	04	194180	消防団施設等整備事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		1,578	51,300		49,722
財源 内訳	国費	0	0		0
	県費	0	424		424
	地方債	0	43,500		43,500
	その他	0	0		0
	一般財源	1,578	7,376		5,798

特定財源の内訳					
事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	～	令和5年度

部重点施策における目標

市民の安心・安全な暮らしを火災や災害から守る。

事業開始の背景・経緯

火災をはじめ風水害、地震等の災害から市民を守るため、消防団員の活動拠点となる消防屯所や消防車両等の装備の整備は重要である。このことから、施設の長寿命化を図りつつ、団員の活動に支障を来さないためにも、計画的に更新整備を進めている。

事業概要

○ドライブレコーダー整備 1,301千円
 消防団車両137台のうち、令和3年度は67台を整備
 消防団施設の整備 2,689千円（耐震補強工事及び監理業務委託は、入札不調によりR4へ繰越し。）
 屯所耐震補強工事（公共下水道への接続を含む） 第16分団第1部（石鳥谷・五大堂45㎡）
 ホース乾燥塔撤去工事 第10分団第2部2班（大迫・落合）
 消防屯所駐車場用地取得 第2分団第3部（花巻・橋本）
 公共下水道への接続
 屯所耐震補強工事と一体工事のため計上なし
 消防団車両等の整備 47,310千円
 消防ポンプ自動車1台、小型動力ポンプ積載車3台、小型動力ポンプ3台

担当部署	31100000 消防本部 消防本部	担当課長	戸来 達也
------	--------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

- 消防団施設整備事業費 51,300千円
- ドライブレコーダー整備 1,301千円
 消防団車両 67台 849千円、取付手数料 452千円
 R2、R3の2か年で消防団車両全137台が完了
 - 消防団施設の整備 2,689千円
 (1) 第16分団第1部（石鳥谷・五大堂）消防屯所耐震補強工事及び公共下水道接続工事
 石綿含有事前調査業務委託料55千円、設計業務委託料 1,133千円、立木伐採処理業務委託料55千円
 耐震工事及び監理業務委託は、入札不調によりR4へ繰越し
 (2) 第10分団第2部2班（大迫・落合）ホース乾燥塔撤去工事等業務委託料 451千円
 (3) 第2分団第3部（花巻・橋本）消防屯所駐車場購入費 995千円
 - 消防団車両等の整備 47,310千円
 手数料 37千円、保険料 31千円、自動車等購入費 47,155千円、重量税 87千円
 (1) 消防ポンプ自動車更新 1台 第5分団第5部（花巻・葛）24年経過 21,780千円
 照明器具156千円、ホースブリッジ73千円
 (2) 小型動力ポンプ積載車更新 3台 19,635千円
 第6分団第6部（花巻・山口）26年経過
 第8分団第3部（大迫・下町）26年経過
 第21分団第1部（東和・中内）25年経過
 (3) 小型動力ポンプ更新 3台 5,511千円
 配備先は、小型動力ポンプ積載車と同一

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	09	01	04	194190	消防水利維持管理整備事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		23,666	55,551		31,885
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	3,696	4,812		1,116
	地方債	0	29,700		29,700
	その他	13,000	14,200		1,200
	一般財源	6,970	6,839		-131

特定財源の内訳					
事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	~	令和5年度

部重点施策における目標
火災や災害から市民を守る。

事業開始の背景・経緯
消防水利が不足する地域を解消するため、消防水利の基準と地域特性を考慮した計画的な整備と維持管理を進める。

事業概要
消火栓及び防火水槽維持管理事業 14,316千円
消火栓維持管理（保守2,054基、修繕35基）
防火水槽等維持管理
消火栓整備事業 31,610千円
消火栓設置（7基）
水道配水管敷設替えに伴う消火栓設置（23基）
消火栓移設（1基）
経年防火水槽調査事業 9,625千円
経年防火水槽調査業務委託（8基）
防火水槽清掃・汚泥除去業務委託（8基）

担当部署	31100000 消防本部 消防本部	担当課長	八重樫晴彦
------	--------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1
消防水利維持管理整備事業 55,551千円

1. 消火栓及び防火水槽維持管理事業 14,316千円
 (1) 消火栓維持管理 13,212千円
 消火栓維持管理負担金（2,054基） 5,334千円
 消火栓一般修繕分負担金（35基） 7,676千円
 消防活動時使用水量分負担金 202千円
 (2) 防火水槽等維持管理 1,104千円
 無蓋防火水槽維持管理業務委託 644千円
 消防水利標識の購入 421千円
 防火溜池等補修資材の購入 39千円

【その他】イーハトーブ花巻応援寄附金 10,000千円

2. 消火栓整備事業 31,610千円
 (1) 消火栓設置（7基：花巻3基、大迫1基、石鳥谷2基、東和1基） 11,009千円
 (2) 水道配水管敷設替えに伴う消火栓設置（23基） 19,538千円
 (3) 消火栓移設（1基：東和町百ノ沢） 1,063千円

【起債】緊防債 9,400千円【消火栓設置】（太田2基、笹間1基、石鳥谷好地1基、石鳥谷北寺林1基、東和1基）
 辺地債 7,700千円【消火栓設置】（大迫1基）
 【敷設替え】（大瀬川4基、戸塚3基）
 合特債 11,500千円【敷設替え】（富沢4基、大興寺4基、関口1基、新堀1基、下幅5基）
 過疎債 1,100千円【敷設替え】（大迫1基）

3. 経年防火水槽調査事業 9,625千円
 (1) 経年防火水槽調査業務委託（8基） 7,205千円
 (2) 防火水槽清掃・汚泥除去業務委託（8基） 2,420千円

【地域経営推進費】 4,812千円